

# もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

## 平成 29 年度自然保護委員会総会「第 41 回山岳自然保護の集い白山大会」に参加しての報告

理事・自然環境保護担当 小田里子

自然保護委員会総会が 9 月 9 日から 11 日の 3 日間石川県白山市白峰で行われ、28 都府県 66 名の参加で開催された。この総会は平素の山岳自然保護の活動に資するため、それぞれの地域における山岳自然保護に関する活動発表や討議と共に、情報交流を行い、山岳自然保護に対する認識を再認識する事を目的に開催された。

山道は無い) に籠り翠ヶ池に向い拝んだと言われている。



## 悠久の歴史を守り続ける白山文化に学ぶ

### 基調講演

今回のテーマは、「悠久の歴史を守り続ける白山文化に学ぶ」とし、石川県山岳協会副会長 石森長博により「白山信仰と文化遺産」と題し基調講演が行われた。

白山は、奈良時代初めの養老元年 (717 年)、越前の僧泰澄大師が白山に登って、本年 2017 年は 1300 年目の節目を迎える。

伝教大師最澄が比叡山延暦寺開創 788 年、弘法大師空海が高野山金剛寺開創 816 年なので、白山は比叡山、高野山より早く開山されている。

白山信仰としての登拝道は、平安時代天長九年 (832 年)、美濃・越前・加賀の三禅定道が開かれた。

《 禅定道とは山岳信仰で登拝する修行僧の登山道の事で、また馬場とは白山へ登る際、馬がそれ以上進めない神域への入口。馬を繋ぎ止めておいた場所。》

美濃禅定道は 岐阜県郡上市 美濃馬場長滝白山神社～石徹白登山口～三の峰～南竜ヶ馬場～御前峰

越前禅定道は 福井県勝山市 越前馬場平泉寺白山神社～小原峠～三ツ谷～市ノ瀬～御前峰

加賀禅定道は 石川県白山市 加賀馬場白山比咩神社～一里野～ハライ谷～長倉山～大汝峰～御前峰

泰澄大師は御前峰を南東に下がった所の転法輪 (登

(泰澄大師が修行したと言われる転法輪窟) 泰澄とイザナミ (伊弉冉、伊邪那美)

泰澄が御前峰で瞑想していた時に翠ヶ池から九頭龍王 (十一面観音菩薩) が出現して、自らをイザナミ尊の化身で白山明神・妙理大菩薩と名乗って顕現したのが起源。神仏習合の山岳信仰に基づいている。

御前峰の仏は十一面観音菩薩で神はイザナミ尊 (伊弉冉)。大汝峰の仏は阿弥陀如来で神は大国主尊 (大己貴尊)。別山の仏は聖観世音菩薩で神はスサノオの尊 (大山祇命) 神仏分離→廃仏毀釈

明治新政府より「神仏判然令」が公布され、奈良時代から続いていた神仏習合が禁止され、神道 (神様) と仏教 (仏・菩薩)、神社 (神主) と寺院 (僧侶) が区別された。白山の信仰形態は神社となり、仏像や仏具は廃棄させられた。神祇官 (政府の役人) の目を逃れて隔離した仏像が下山仏として残されている。

美濃馬場 白山中宮長滝寺→長滝白山神社・長滝寺越前馬場 白山中宮平泉寺→平泉寺白山神社 加賀馬場 白山本宮白山寺→白山比咩神社 山名を冠した高山植物 (和名)

伊吹山 22 種 (イブキトラノオ、イブキジャコウソ)



ウ・・・) 歴史が古い程冠した名が多い

富士山 19 種 (フジアザミ、フジハタザオ・・・)

白山 18 種 (ハクサンイチゲ、ハクサンコザクラ・・・)

箱根 16 種 (ハコネトリカブト、ハコネギク・・・)

日光 15 種 (ニッコウキスゲ、シラネアオイ・・・)

白山の高山植物は『白山草木志』に記されているが、著者は紀州藩士の畔田伴存 (1792—1859)

漢方の生薬などを研究する植物学者。白山では 59 種の植物が記述されているが今日の和名と比定が困難なものや疑問が残るものもある。(白山櫻草=ハクサンコザクラ、鉦梅草=ハクサンイチゲ・・・)

**まとめ 自然保護とは**

自然保護とは、人間が生存する自然環境の保全を図り、保護することをいう。

ところが自然保護の認識とは裏腹に、自然破壊が進行している現状にある。地球の温暖化など自然を破壊する要因を演じているのが人間ではなかろうか。

日山協が提起する山の自然保護は、特定の動植物や生態系の景観に目を向けがちに思う。

自然界における人間社会の貴重な文化遺産や歴史との調和を図り、視野を広めた自然環境を保全することが肝要と考える。

**事業計画の活動展開について報告**

トイレパンフレット

トイレゴミやトイレ利用料など最近のトイレ事情への理解を促し、利用者意識の啓発を図るため、親しみやすいパンフレットを制作し、HP を通して配布協力を呼び掛けている。

**自然保護指導員テキスト**

自然保護指導員の資質向上に向け、基本的な知識の共有化を目指しテキストの制定を行った。

**JMSCA 自然保護ワッペン**

指導員が自ら山岳自然保護への協力を訴える広告塔となって活躍する事を期待してワッペンの提供を始めた。

**自然保護指導員登録**

登録数が数年間減少傾向にある。制度の意義を考え、増進が望まれる。広島県の登録数は 75 人で、全国 4 番目に多い。活動が伴っている事を望む。

**山の野生鳥獣目撃レポート**

日山協のホームページで、猪、熊、猿、雷鳥、カモシカ、鹿等の目撃情報の収集を H21 年から実施している。H29 年度中には 1,000 件を超えた。

**山岳団体自然環境連絡会**

日山協等山岳関係 7 団体、環境省、鳥獣保護管理、林業者、ハンターなど各分野からニホンシカの獣害問題を扱った意見交流を行った。

**各都府県の活動報告**

ニホンシカによる食害対策が多く紹介され、3,000m 高山帯までの生息調査、カタクリの食害調査、また鹿が食べないミツマタ植樹で裸地化の崩壊防止が報告された。関東圏ではトレランが盛んに行われ、マナーが問題に。水質検査は安定したので止める傾向となっている。研修会の内容は、山の日制定に絡み一般登山者を対象にした地学、植物観察が各県で盛況に行われている。

**フィールドスタディー**

白山登山を行った。砂防新道は石畳で良く整備されていた。登山道脇にはハクサンアザミ、ハクサンフウが見られた。甚之助避難小屋は平成 23 年に建て替えられ 20 人宿泊可能、水道水飲用可、トイレは水洗式 LED 証明が導入されている。室堂では購入した飲料後容器も持ち帰りとし、ゴミ持ち帰りは徹底している。御前峰はガスで眺望は無く、お池巡りもお花畑は終わっていた。2 日目も小雨となったが、全員無事に研修を終えた。

**3 日間の山岳自然保護の集いを終えて**

各県の自然保護の活動は意欲的に取り組んでいる。その活動が精力的で成果を挙げられている。同じ部屋になった京都、三重県の女性も 30 代 40 代と若く、また、白山登山された中には 70 代から 80 代の人も見かけられたが、意欲的な事に感心した。とても羨ましく思った。

また、登山道保全や環境調査は行政や地域と一緒に

行っている所も多く、学ぶべき所と思う。

8月末に中国ブロックの人を招いての研修会を行った事で、鳥取県、岡山県、山口県の方々と親しくなれた。

他県の報告の中にもブロックで協力出来て良かった。報告もあり、中国ブロックも基盤が出来たと期待できる。来年度の自然保護委員会総会の開催地はまだ決まっていないが、広島県の自然保護に関わる他の人にも是非参加をして頂き、全国の活動の刺激を受けて積極的活動をして頂きたい。

攻撃性の弱い益虫もある。

- ・特に攻撃的で毒性が強く注意を要するのはスズメバチのメス。アシナガバチのメスはこちらが巣を攻撃しない限り通常は攻撃してこない

- ・オスは刺さない。

- ・スズメバチの種類 (攻撃性の強い方から)

オオスズメバチ (27～44mm) 土の中 > キイロスズメ



## レポート

### 蜂について (対応と処置)

ひこばえ 福田勝弘

今年は雨の少ない暑い夏の為か、スズメバチが大量に発生し被害が続出しています。例年全国で約30人の死亡者が出ており、屋外での遭遇率の高さと、死亡事故にまでつながる可能性を考えると、クマや毒蛇などよりはるかに危険な動物といえます。我々の会も御多分にもれず9月例会において被害を受けることとなりました。

今後被害を出さない為にも蜂の習性を理解し被害防止方法、刺された時の適切な処置方法を習得しておきましょう。資料参考にまとめてみました。

#### 1、蜂の種類と生態

- ・蜂にはスズメバチ、アシナガバチ、ミツバチ、ドロバチ、クマバチ、ツチバチ、ヒメバチ、コバチ、キバチ、ハナバチ、ジガバチ等があり危険なハチから、

バチ (17～28mm) 軒下・屋根裏 > モンスズメバチ (21～30mm) 樹洞・屋根裏 > コガタスズメバチ (22～29mm) 生垣・庭木 > ヒメスズメバチ (25～36mm) となる。

しかしいずれも、巣を攻撃したりして刺激を加えると一斉に攻撃してくる。

- ・オオスズメバチとキイロスズメバチは攻撃性が強く、秋口に集団被害の原因となるのも主にこの2種が多い。

#### 2、オオスズメバチの特徴

> 体長は女王バチ 40～49mm、働きバチ 27～40mm、オス 27～45mm でスズメバチの中で最大の種 > 女王バチは5月中旬に営巣を開始する。働きバチは7月から羽化し、9月～10月には100～500頭程度になる。オス、新女王とも9月～11月に羽化する。

> 幼虫の餌はコガネムシやカミキリムシ、大型のガの幼虫、キノコ等だが、秋口には集団で他のスズメバチやミツバチの巣を襲い幼虫やさなぎを餌にする。



＞攻撃性、威嚇性ともに強く、地中や樹洞に営巣した場合、近くを通行する振動が伝わりハチが興奮して攻撃する事がある。

＞樹液によく飛来するが、縄張り意識が強く餌場においても威嚇や攻撃が見られるので注意が必要です。

＞数百匹で群れをつくっていて、毒性が強く、攻撃的で、刺激すると集団で襲ってくることもある。

＞スズメバチによる被害の大半は8月～10月の3カ月で発生し中でも9月が最も多いとされる。これはオオスズメバチの習性として他のスズメバチの巣を集団で攻撃し、幼虫やさなぎを餌として持ち帰る攻撃行動の季節でもあり、それにより他種のスズメバチも巣全体が防衛態勢に入り神経質になっているためといわれる。

### 3、スズメバチとの遭遇時注意事項

偵察蜂による警戒巣の数メートル～10メートル以内に近寄ると、侵入者の周囲を飛び回って警戒するので、この距離で大声を出した場合、巣の表面に多数の蜂が出てきて警戒体制に入る。したがって活動範囲にスズメバチの巣があるような場合には、巣の近くで大声を出したり、強い振動を与えたりしないように注意する。

① 偵察蜂による威嚇後更に近づくと、侵入者にまわりつくように周囲を飛び回り、大顎を噛み合わせてカチカチという威嚇音を発する。

野外活動中に偵察蜂に遭遇した場合には、頭(黒色)を隠し姿勢を低くして、ゆっくりその場を離れる。

② 巣への間接的刺激に対する攻撃威嚇を無視したり、巣のある枝や土中の巣の近くを通ったりして巣を振動させると、偵察蜂が空中に噴霧したフェロモンだけでなく、興奮した働き蜂によって巣の中に散布された警報フェロモンに反応して集団で侵入者を攻撃する。1匹のハチに刺され毒液が放出されると、警戒フェロモン物質が空中にまき散らされるため、これに刺激された多数のハチの攻撃を受けることがあります。危険です。

③ 巣への直接的刺激・破壊に対する攻撃巣への直接刺激や破壊により興奮した蜂は一斉に巣を飛び出し、威嚇攻撃なしにいきなり刺す。興奮が

激しいときには、多数のハチの攻撃に加え、噛み付いたまま何度も刺すため重症となることが多い。侵入者を執拗に追いかけて、その距離は数10mに達する場合もあり、最も危険な段階である。蜂の攻撃を受けた場合、手やタオルなどで払うのは危険である。

- ④ オオスズメバチでは、①からすぐに③の段階へ移行することが多い。
- ⑤ 働き蜂が多い(巣が大きい)場合には、巣を刺激しなくても現場から離れないと④の段階に達し、極めて危険な状態となる。
- ⑥ オオスズメバチは、樹液をなめているようなときでも興奮すると単独で攻撃してくる。
- ⑦ 毒液が眼に入ると激痛を起こし、更に毒液の量が多いと角膜剥離による失明の危険がある。
- ⑧ 緊急事態に備えて、市販殺虫スプレー(製品名ハチノック、ハチジェットなど)や抗ヒスタミン剤を含むステロイド軟膏を携帯するとよい。
- ⑨ スズメバチはいずれの種も黒色に対して激しく攻撃性を示します。白色や黄色、銀色などに対する反応は弱く、ほとんど攻撃しません。ただし、白色であっても、いったん攻撃を受けたあとでは安全とは言えない。
- ⑩ ヒラヒラするもの、純毛製のもの、香水やヘアスプレーなどの化粧品、音や振動(虫避けの超音波発信機など)には、敏感に対応しますから、蜂を刺激する原因となり、攻撃行動のきっかけとなる場合がある。

### 4、スズメバチに刺された時の処置

毒液による痛み、腫れ、患部の炎症、痒み、体温の上昇等が、刺傷後10～15分後に発現しますが次により対応する。

① 速やかに巣から遠ざかる 万一巣が近くにある場合はたいへん危険なので速やかに遠ざかる。この場合もできればなるべく低い姿勢で静かに縦方向に離れます。おおむね

10～50m離れることができれば安全です。

② 患部からの毒液除去 傷口は清潔な水でよく洗い流し、身体に回る毒成分の量を減らすため、で

きただけ速やかに毒液を指でつねって絞り出す(口で吸い出さず)或いは市販の器具(ポイズンリムーバー)を用いて吸い出す。

③毒成分の不活性化 患部の腫れや痛みには冷湿布をし、虫刺されの薬(抗ヒスタミン剤ステロイド軟膏、20%タンニン酸軟膏、3%タンニン酸アルコール、渋柿の汁など)を塗ります。後に水洗いする。この際、俗信として根強い‘アンモニア水で中和する’は、全くの誤りです。

④治療患部の腫れや痛みには冷湿布をし、抗ヒスタミン剤を含むステロイド軟膏を塗る。重症の場合は、患部を冷やして、迅速に医療機関で手当てを受ける。

⑤アレルギー性症状 人によりアレルギー反応の程度は異なりますが、身体各所或いは全身のじんましん、だるさ、息苦しさなどのアレルギー性症状がある時は、迅速に医療機関で手当てを受けるべきです。また、次の刺傷に十分な注意が必要です。

蜂の毒に対する感受性は個人差が大きく、万一アレルギー性を持っていた場合、アナフィラキシーショックと呼ばれるアレルギー性症状が発生する危険があり、重症の場合嘔吐、頭痛、めまいなどがみられさらには血圧低下や意識の混濁、まれには死に至ることがあります。

⑥さらに緊急を要する場合は注射剤エピペン(注射剤一体型)使用処置も有効です。

#### 参考ホームページ

\* いわき海浜自然の家のスズメバチ対策

<http://www.iwaki-nc.fks.ed.jp/htm/bee/bee.htm>

\*スズメ蜂に刺された時(猛毒の‘スズメバチ’に刺されないために)

<http://www.ne.jp/asahi/web/oki/health/hachi.html>

\*広島市保健所 パンフレット ‘ハチ’



#### 岳連短信

##### 1、県民ハイキング報告 9・1 小室井山

担当団体：広島県庁山の会(責任者 菊間秀樹)

参加者：61人(一般参加29人・高校生以下3人)

担当団体参加22人・担当団体以外参加会員7人)

##### 2、来年度の「県民ハイキング」担当のお願い

会長 山田雅昭

今年度で2年目となる「県民ハイキング」、加盟団体の皆様のご協力をいただき、順調に開催しています。3年目となる来年度引き続き開催したいと考えております。つきましては、貴団体のご協力が頂けるかどうかご検討いただきますようお願い申し上げます。いったん12月に集約を行い、新年1～2月に加盟団体間の調整を行うよう予定しております。開催日については、団体間で希望が異なる場合があるため、3～5程

度の候補を用意いただくようお願いいたします。

#### 県民ハイキングの概要

- ①山岳連盟が主催し、加盟団体が月替わりで担当団体になる。一般募集や広報などの事務は山岳連盟が、山行の実務は加盟団体が担当する。
- ②山岳連盟役員と加盟団体とで、年間を通じた『実行委員会』を組織し、各種意思決定や調整を行う。
- ③コースは、一般初心者でも容易に歩ける、安全な登山道のある山域とし、コースタイムにも配慮する。
- ④雨天の場合は中止する。（前日夕方発表の降水確率予報が、午前、午後、50%以上の場合は事前中止）
- ⑤参加費は、1000 円（子供と連盟加盟団体会員は 500 円）とし、収入は岳連と折半し、各種経費や日常の活動費に活用する。
- ⑥詳しくは、事務局にお問い合わせください。また、毎月、実行委員会を開催していますので、出席をお願いいたします。

### 3、平成 29 年度 全員協議会開催

日時：平成 29 年 11 月 1 日（水）19:00

場所：広島市西区区民文化センター

議題：山岳連盟長期ビジョン

日本山岳連盟の名称変更都広島県山岳連盟の対応

### 4、口田公民館 講演会(報告)

日時：2017・9・4（金）

場所：口田公民館 文化教室

演題：山歩きの話

講師：山岳連盟副会長 岡谷良信

### 5、寄贈御礼

①筆影 452 2017・11・1

（三原山の会 会長積山鈴子）

②ひこばえ 90 2017・10・15

（ひこばえ 会長 森 智昭）

③会報 平成 29 年 11 月

### 6、第 13 回たけはら里山ハイキング（11・23）

里山の素晴らしい景観や歴史を探訪しながらたけはら里山ハイキングコースを歩きます。バンブー公園では食事・レクリエーション等を行い、市民の皆様の健康維持推進と親睦を深めることを目的とします。

期日：平成 29 年 11 月 23 日（木・祝）8 時 30 分集合  
雨天決行

集合場所：竹原小学校体育館前（駐車可能）

解散 午後 3 時 30 分（予定）

参加費：一般 800 円 小学生 400 円（食費・保険料等）

申し込：竹原市観光協会 電話 22-4331

竹原山岳会事務局 電話 22-6131

申し込締切：11・11（土）17:00

### 7、マイショット「湖に映える秋空」

中国新聞セレクト掲載

ひこばえ森智昭さんの写真が掲載されました。

「立岩ダムでボートに乗っている際、無風状態で鏡のような湖面に映る秋空を撮りました」

（中国新聞セレクト 2017・10・20）



森 智昭（ひこばえ）氏は「山の風景」の常設担当しています。



## フォト俳句

スマホ切り 今日一日は 私の山

俳句写真 江種幸男（福山山岳会）



## 山の風景 80

井仁の棚田(安芸大田町)

2017・10・1 写真提供 森 智昭（ひこばえ）



## 事業計画 2017・11

- 11・1(水) 全員協議会（西区民文化センター）
- 11・2（木）登山教室②⑧ 机上（三篠公民館）
- 11・3（祝）～5（日）安全登山普及指導者中央研修会
- 11・5（日）県民ハイキング（宮島太郎の会・宮島）
- 11・11（土）～12（日）登山教室②(8)（大万木山～琴引山）
- 11・11（土）～12（日）高体連 広島地区・呉地区合同新人大会（CERO ほか）
- 11・11（土）第 7 回自然保護指導員研修会（東京）
- 11・12(日)クライミングスクール⑦（三倉山）
- 11・15（水）岳連例会山行⑧（高岳～聖山）

## 編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせください。

題字デザイン 今村みずほ

編集 仲井正美

## 国民の祝日

山の日 「8 月 11 日」

2016 年から国民の祝日となりました。